

子供企画型 レポート

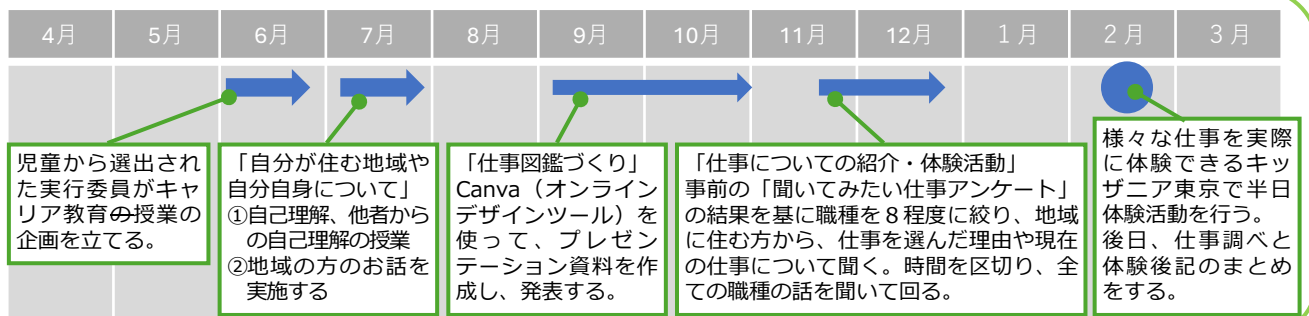
テーマ キャリア教育「いろいろな仕事を体験しよう」

町田市立三輪小学校

教育計画上の
のねらい

総合的な学習の時間「未来設計図」の単元において、様々な職業に触れたり具体的な仕事を体験したりする活動を通して、働くことの意義や役割について理解を深めるとともに、仕事に対する興味・関心を高め、自分の将来の夢や生き方について主体的に考えようとする態度を育てる。

児童・生徒の企画内容
年間スケジュール



児童・生徒の声



企画に関わった
児童・生徒

「自分のやりたいと思ったことが実現できてよかった。」
「将来のことを考える良いきっかけとなった。」

参加した
児童・生徒

「世の中には様々な職業があることを知った。」
「どんな職業の人も、誰かのためにという思いで働いていることが分かった。」

取組・実践



キャリア教育の企画を考えよう

実行委員が「自分たちの将来や身近な仕事について知る」という目的を掲げ、活動内容（例：職業アンケート、ゲスト講師への質問案作成、仕事紹介ポスター作り等）を決定した。

児童主体のキャリア教育の実践を通し、働くことの意義や自己の将来について真剣に考える姿が見られた。実行委員を中心に「自分たちで創り上げる」経験を積んだことで、学級全体に主体的な学習態度が定着し、互いの良さを認め合う土壌が育まれた。



キャリア教育 交流会

地域住民や保護者を講師として招き、現在の仕事内容だけでなく「なぜその仕事を選んだのか」「仕事のやりがいと苦労」について直接話を聞く機会を設けた。

交流会では、実行委員が司会を務め、事前に集計した質問（例：「子どもの頃の夢は？」「今の仕事に学校の勉強はどう役立っているか？」）を基に、対談形式での質疑応答を実施した。



職業体験（キッズニア）

児童は実際の企業が監修するパビリオンにて、ユニフォームを着用し、それぞれの役割を分担しながら、責任を持って業務を遂行するプロセスを体験した。

労働の対価として給与（専用通貨）を受け取り、それをサービスや買い物に利用したり、銀行に預けるという一連の経済サイクルを実体験した。

数ある職種の中から自分の興味・関心に基づいて体験先を選び、時間管理を行いながら活動を組み立てた。

成果

- 自分の適性を見つめ、これからの学校生活で何を頑張るべきかを具体的に考えることができた。
- 単なる職業選択に留まらず、「どんな大人になりたいか」という理想像を描くことで、日々の学習や生活に対する目的意識が明確になった。
- 「将来の夢」を描く活動を通し、自分の長所や興味を再発見することができた。また、友達同士で「キラリ（良さ）」を伝え合うワークを取り入れたことで、自己肯定感が高まり、苦手なことにも「まずは挑戦してみよう」という前向きな姿勢が見られるようになった。